

平成12年10月30日

各位

会社名 株式会社テクノ菱和
代表者の取締役社長 林 昭八郎
役職氏名
(コード番号 1965 東証第2部)

問い合わせ先 専務取締役 田村 邦彦
電話番号 03-3403-9865

中間、通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成12年5月22日に発表した平成13年3月期(平成12年4月1日～平成13年3月31日)の中間・通期業績予想について、下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成13年3月期中間業績予想数値の修正(平成12年4月1日～平成12年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成12年5月22日発表)	23,700	180	620
今回修正予想(B)	24,670	710	450
増減額(B-A)	970	530	170
増減率	4.1	294.4	27.4
前期(平成12年3月中間期)実績	20,165	851	347

2. 平成13年3月期通期業績予想数値の修正(平成12年4月1日～平成13年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成12年5月22日発表)	56,600	1,860	170
今回修正予想(B)	60,000	2,000	300
増減額(B-A)	3,400	140	130
増減率	6.0	7.5	76.5
前期(平成12年3月期)実績	52,744	1,407	476

3. 平成 13 年 3 月中間期連結業績予想数値の修正（平成 12 年 4 月 1 日～平成 12 年 9 月 30 日）

（単位：百万円、％）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 12 年 5 月 22 日発表)	2 4 , 6 0 0	1 8 0	6 4 0
今 回 修 正 予 想 (B)	2 5 , 4 0 0	6 8 0	5 7 0
増 減 額 (B - A)	8 0 0	5 0 0	7 0
増 減 率	3 . 3	2 7 7 . 8	1 0 . 9
前期(平成 12 年 3 月中間期)実績	-	-	-

4. 平成 13 年 3 月期連結業績予想数値の修正（平成 12 年 4 月 1 日～平成 13 年 3 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 12 年 5 月 22 日発表)	5 8 , 5 0 0	1 , 9 0 0	1 7 0
今 回 修 正 予 想 (B)	6 2 , 0 0 0	2 , 0 0 0	3 0 0
増 減 額 (B - A)	3 , 5 0 0	1 0 0	1 3 0
増 減 率	6 . 0	5 . 3	7 6 . 5
前期(平成 12 年 3 月期)実績	5 4 , 2 5 4	1 , 4 2 2	4 7 5

5. 修正の理由

（ 1 ） 中間業績

当中間期の売上高は、上半期の工事受注高が IT 関連、薬品・食品関連のクリ－ンル－ムを中心に計画値を大幅に上回る状況(計画 2 6 6 億円、実績 3 0 8 億円)となり、この中に占めるライン更新等の短工期案件の増加にともない完成工事高は前回発表予想数値から増収となりました。

経常利益は、当中間期から上半期費用の一部を下半期に繰り延べる会計制度の廃止に伴い 5 3 2 百万円の減益要因が生じたものの、上記の増収要因および完成工事利益率の上昇により予想値を上回る見通しとなりました。

中間純利益は、退職給付債務の積立不足の一括償却に伴い 2 , 2 1 1 百万円を特別損失に計上し、その対応として退職給付信託設定益 1 , 0 8 5 百万円を特別利益に計上いたしました結果、4 5 0 百万円の赤字となる見通しとなりました。

（ 2 ） 通期業績

通期の業績につきましては、総受注高は５７７億円（前年比４１億円増、７．７％増）を見込んでおり、売上高、経常利益および当期純利益は、上半期の受注増により増収、増益となる見通しであります。

（３） 連結業績の修正理由

当中間期の業績につきましては、売上高、経常利益とも上記要因を主な修正理由とするものです。中間純利益は、連結子会社分の退職給付債務の積立不足額１８５百万円を、前回発表時においては５年間で均等償却する予定でありましたが、今回連結発表会社と同様に一括償却を行なったため、５７０百万円の赤字となる見通しであります。なお、通期の業績につきましては、各項目とも上記要因を主な修正理由とするものです。

以 上